

SKYMENU 活用授業 実践レポート

お名前	斉田 俊平	学校名	大阪市立今里小学校
実施学年	第4学年	教 科	国語科
単元名	「広告を読みくらべよう」		

《学びを深めたいポイント》

昨今の高度情報化社会では、文字テキストだけにとどまらず、写真や動画、図など、いわゆる非連続型テキストも多用される。このような社会に生きる児童は、文字テキストからその目的や意図をつかむだけでなく、写真や図を読み取ったり、全体の色のイメージを読み取ったりする力が必要である。一方で、表現活動においては自分の思いを伝えるために、読み手に効果的に伝わるように表現することが重要である。すなわち、相手に伝わるように短くまとめて書いたり、キャッチコピーや見出しなどによって読み手を引き付ける工夫をしたりすることで言語感覚を養っていくことが目指される。

そこで本単元では、児童にとって身近な人を想定して、その人たちに情報を伝えるという目的を設定し、校内で取り組む「今里子どもまつり」をテーマに、広告の特質を踏まえ、伝えたいことを短くまとめて書くこと、効果的な割り付けをすること、分かりやすいキャッチコピーを付けることなどに焦点を当てたうえで活動を展開することとした。読み手の興味を引くような表現の効果を考えて、書き表し方を工夫することができる能力の育成を目指し、誰に伝えたいのかという相手を明確に思い描くことで、何を伝えるかという内容とともに、確実にわかりやすく伝えるために、どのように伝えるかという方法にも着目させていきたい。また、児童にとって身近で、生活に即した広告を学習材に二つの広告を読み比べ、広告に書く事柄や順序、言葉の使い方、写真の使い方、レイアウトなど、相手に応じた表現の工夫とその効果について考えを深めていく。さらに、広告の目的は人々に情報を知らせ、理解させ、行動させることであることに気づかせたい。そのために多くの人の目に留まりやすく、短時間で興味を引くものでなければならない。そのうえで、知らせる内容を分かりやすく伝えることが大切である。広告を作る活動を通して、必要な情報を集め、知らせたいことの内容を考えた、意図や目的に合わせて表したいことを表現できるようにしたい。

《SKYMENU 活用のポイント》

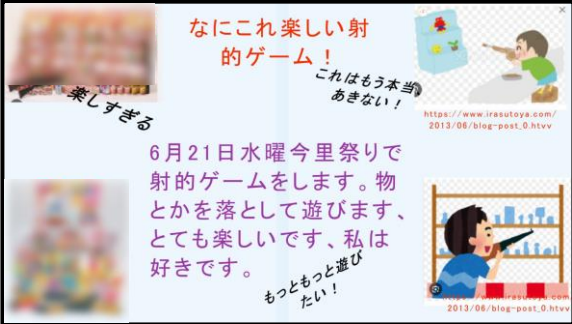
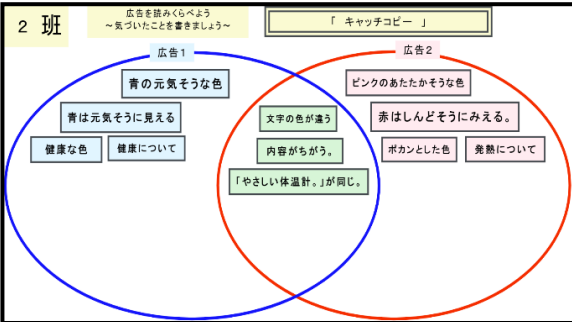
本単元では、【シンプルプレゼン】を活用して広告作りに取り組むという活動を通して、読み手の興味を引くような表現の効果を考えて、書き表し方を工夫することを目指した学習を行った。

本単元の導入として、【発表ノート】を使って伝えたいことや自分の考えを必要な資料を活用しながら広告を作成した。【発表ノート】は「文字の入力」「写真の挿入」「文字の大きさや色」「背景画像や色」など、レイアウトを自由に変更することができる。導入時に児童が作成した広告では、多くの文章や画像、イラストを掲載し、多様な情報を一枚の広告に凝縮した作品となった。そこから、伝えたい情報が錯綜しないために、どうすれば知ら

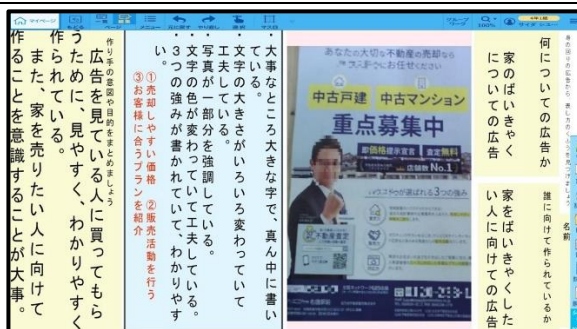
せたい内容を分かりやすく伝えられるのかという視点に誘い込んでいった。以上のことから、資料の吟味、情報の精選、キャッチコピーの作成、割り付け、見出しの工夫について着目させることをねらいとした。また、学習の後半には再び広告を作成することを児童に伝え、「今里子どもまつり」について誰に呼びかけるのかという意識を高めた。

後半の広告作成には、【シンプルプレゼン】を活用することで、より明瞭な広告づくりを目指した。【シンプルプレゼン】は、スライドに記載できる情報量に制限があり、「初級（画像4枚・文章5個）」「中級（画像2枚・文章4個）」「上級（画像2枚・文章4個）」の3段階を自分で選択できる。段階が上がるにつれて記載できる情報量が少なくなるため、情報の精選が必要になる。広告の目的である「人々に情報を知らせ、理解させ、行動させる」ために、多くの人の目に留まりやすく、短時間で興味を引くものにしなければならない。そのうえで、知らせる内容を分かりやすく伝えるために、【シンプルプレゼン】の活用が有効であると考えた。

《実践内容》

	学習活動	SKYMENU 活用場面	活用のポイント
導入	1. 学習課題を確かめ、学習の見通しを持つ。 「興味を引く広告を作って、今里子どもまつりの集客を増やそう」という学習目標を設定する。 - これまでに学習した表現の工夫や効果を考える学習を振り返り、単元の学習の見通しを立てる。 「今里子どもまつり」についての広告を作成する。	 これまで学習した表現の工夫をもとに、【発表ノート】を使って「今里子どもまつり」の広告を作成する。	- 伝えたいことや自分の考えを必要な資料を活用しながら広告を作成する。 【発表ノート】の機能を生かして、文字の大きさや色を編集したり、画像やイラストを貼り付けたりすることで、見せ方を工夫する。
展開	2. 教科書の二つの広告に書かれている言葉や写真を読み取り、表現の違いについて理解する。 3. 二つの広告の違いから、それぞれの広告の意図や目的、誰に対して作られたものかを考える。 4. 全体のレイアウトから受ける印象や、表現の工夫による違いから、広告の作り手の意図や目的について考える。	 二つの広告に書かれている事柄を【発表ノート】に書きだし、【グループワーク】を使って班の友だちと共有する。協働で「思考ツール（ベン）」に整理し、まとめたものからそれぞれの違いについて考える。	- 二つの広告に書かれている事柄を「思考ツール（ベン図）」に整理することで、共通点や相違点が明確になり、違いを明らかにする。 【グループワーク】を活用することで、友だちと話し合いながら、協働的に学ぶ。

5. 身の回りの広告などの表現の工夫や効果を分析し、考察を書いて互いに読み合う。



・ 広告に書かれている事柄を抜き出し、事柄ごとに工夫されている点を書き出してから、そこから考えられる作り手の意図や目的を書く。完成した【発表ノート(ワークシート)】は【グループワーク】によって共有し、児童は互いの考察を読み合い、相互評価する。

6. 広告を作成する。

- ・ 割り付けのスペースを踏まえ、情報を引用・要約しながら短い文章で伝えたいことを記述する。
- ・ より分かりやすく、効果的に伝えるために必要な図や写真を準備する。
- ・ 読み手を引き付けるキャッチコピー、見出しを考える。



・ 【シンプルプレゼン】を活用し、個別に応じて「初級」「中級」「上級」を選択する。作成レベルに応じた制限の中で、意図や目的に合わせて表したいことを工夫しながら表現する。

7. 広告を発表する。

- ・ クラス内で発表会を行う。
- ・ 内容について質問をし合い、分かりやすい工夫についてお互いに評価し合う。



・ 拡大提示機に【スライドショー】を提示し、広告の発表を行う。発表する際は、意図や目的に合わせて工夫したところを指し示しながら発表する。

○ 同じ広告を選ぶ児童は、【発表ノート】を共有することで、友だちの考えを参考にできる。また、違う広告を選んだ児童は、多様な考えに触れることで、新たな考えを持つことができる。

○ 「①広告についての表現の工夫や効果②広告の写真③工夫されている点④考察」を一枚のワークシートに見やすく、きれいにまとめることができる。

○ 広告を作成するにあたって注意するポイント(①図や写真と結び付けて、伝えたい内容を書く②文を整理し要約する③必要なことを絞る)を押さえたうえで、条件に即した広告づくりに取り組むことができる。

○ 発表し合うことで、互いの広告を読み合い、友だちの表現のよさを見つけることができる。

まとめ	8.どのような点に着目して、意図に応じた表し方の違いについて考えたかを振り返り、身につけた「言葉の力」を確かめて今後の生活や学習に役立てようとする。	・ 導入時に作成した【発表ノート】による広告と、後半に【シンプルプレゼン】を活用して作成した広告を読み比べ、これまでに学習した広告の表現の工夫について確認する。 ・ 作成した二つの広告を【発表ノート】に保存し、いつでも見返すことで、これからポスターやちらしなどの広告を作る際に、意図や目的を明確にして、表現を工夫しようという意欲を持たせる。	○【発表ノート】の中に保存することで、作成した広告を容易に見返し、学習の振り返りにつけていく。
-----	--	---	---

《実践を振り返って》

広告づくりにおいて【発表ノート】を活用することで、写真・イラスト・図などを容易に集め、必要なものを選び、レイアウト・文字の大きさや色・キャッチコピーなどを工夫して、意図や目的に応じた作品を作成することができた。

また、導入時に【発表ノート】を活用して多様な情報を掲載した広告を作成したことで、伝えたい内容が錯綜してしまうという大きなミスを生じた。このことから、児童は「どのようにすれば読み手に効果的に伝わるように表現することができるのか」という課題を自分事に捉えることにつながった。学習の後半には、【シンプルプレゼン】を活用し、文字や写真などの数が制限される中で、目的や意図に応じていかに明瞭で分かりやすい広告にできるのかを深く考えた。

さらに、作成したそれぞれの広告は【発表ノート】内に蓄積され、容易に見返すことができた。これにより、振り返り時には二つの広告を比較し、学習前後による自身の学習成果を見取ることができた。作成した広告については、「BEFORE」と「AFTER」に振り分け、教室掲示することで、身につけた「言葉の力」を確認することができた。

大改造!!

広告

➡

ビフォー→アフター
That's a DRAMATIC CHANGE

BEFORE (ビフォー)

タイム: 目指せ!!9秒台

今里子どもまつり
6/21(水)

1.ルール

・私たちがタイマーを持って、10秒はかります。

10秒ピッタリになるように頑張ってください。
ピッタリだとすごい!! **10:00**

目指せ!!9秒台!!

出来たらすごいがんばれー!!(-"-)

2.守ってほしいこと

2つあります。
これらを守ってほしいんです。

(1)言いわけなどをしてしないこと!!

言いわけをしたり、友達のをバクったりすると、ゲームにならないからです。

友達と話して、一緒にやったり、10秒、または、9秒台じゃなかったからって、言いわけをしたりしないでください。

(2)みんなのを見て、バクらないこと!!

10秒を心の中で数えているときに、友達が手をあげるのを待って、バクらないでください。
※自分の心の中で数えて、10秒たったら、「はい」と言ってください。

3.最後に一言

楽しいから、ぜひ、来てね!!
("~")

AFTER (アフター)

今里子供祭り タイム: 目指せ!!9秒台!!

1.ルール説明

私たちが10秒はかる「はい」と手をあげる

2.守ってほしいこと(2つ)

言い訳をしない!!
目を開けて人のを見ない!

すぐに取れる!射的ゲーム

6月21日にやります

今里小学校
「子どもまつり」

ぜひ来てください

ミッション: 商品をゲットせよ

なにこれ楽しい射的ゲーム!

これはもう本当!あきない!

6月21日水曜今里祭りで射的ゲームをします。物とかを落として遊びます、とても楽しいです、私は好きです。

もっともっと遊びたい!

すぐに取れる!射的ゲーム

6月21日にやります

今里小学校
「子どもまつり」

ぜひ来てください

ミッション: 商品をゲットせよ